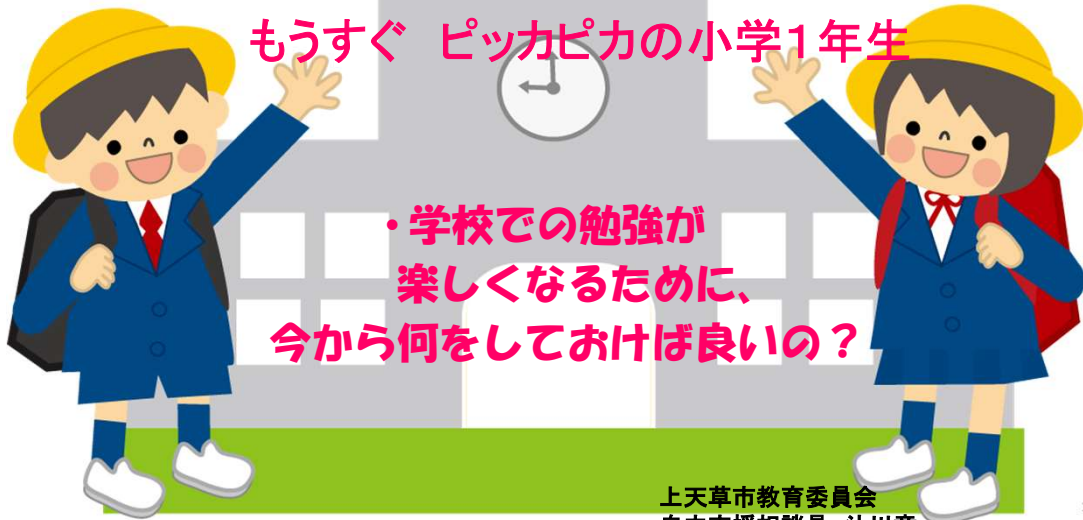


# 上天草市立小学校 令和5年度保護者学習会



- 入学に向けてあと半年となりました。
- そこで、「保育園での活動」とは違う「小学校での生活」を比べながら、
- お願いしたい大切な“子育ての工夫”を考えてみました。
- 色々あると思われませんが、
- 【小学校1年生のお勉強が楽しくなる】ために今できる子育ての工夫を、私から一つだけあげさせて頂けるとすれば、、、
- の、お話をさせていただきます。





保育園ではあまり必要  
なかったけれども、  
学校の『文字を使った学習』  
に必要な力とは  
何でしょう？

「保育園」と「学校」は  
何が違うのでしょうか？

入学すると  
クラスという集団の中で  
文字を使って考える  
『学習』が始まります。

そのためには、、、「おしゃべりの言葉」と「読み書きの言葉」  
をつなげる力が芽生えていることが大切です。

3

## 学校や保護者から相談される 小学校1年生の最近の傾向

- 年長の頃からたくさん言葉も知っていて、会話はとても上手なのに。
- 保育園でも『ひらがな50音』を、すこしずつ練習していたのに・・・

### 入学後に

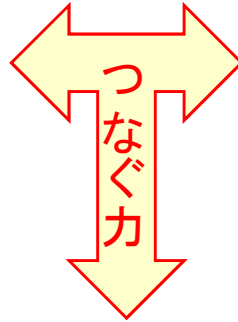
- 『ひらがな50音表』で、どれが『あ』か言い当てられるのに、
- 音読は何とか出来ても、文章に書いている内容が分かっていない。
- 頭に浮かんだ「自分の考え」を、ノートに書こうとすると固まってしまう。
- といった不思議な相談が、10年前と比べてとても増えてきました。
- ⇒これは、子ども達が怠けたり気分が乗らない訳ではないのです。

4

•「耳で聞く話し言葉(会話)」



- 
- 
- 



「読み書きの言葉(文字)」

- 

おんいん  
**音韻意識**が育っていることが必要。

5

•「音韻意識」が育つって?? 何それ???



•「え~~~~! ( ; ° □ ° )」

• 50音表を使って、「あ」「い」・・・「お」を、  
頑張って教えていたのに!

• それじゃ、ダメなの??

• そもそも、私が子どもの頃には、「音韻」なん  
て聞いたこともなかったよ!**なんそれ~**

6

言葉の育ちは、  
最初は、実物を見て  
その言葉の「音」と「意味」が  
分かるように  
発達していきます。

リンゴ食べる？

あの  
「りんご」を食べる  
かどうか聞かれて  
いるんだな



7

言葉の育ちは、  
実物を見なくても  
その言葉の意味を話し言葉から  
分かるようになる「会話」へと  
発達していきます。

リンゴ食べる？

うん、  
食べる！

「話し言葉」は大人との  
やり取りを通して、  
個人差があっても  
「会話」で発達していきます。



8

さらば、音韻意識が育ちます。

- 5歳頃になると、「りんご」と聞いた言葉が、
- 「り」・「ん」・「ご」に分けられて、その順番も意識できるようになり、会話のことばが文字のことばに繋がっていきます。

9

### 音韻意識が発達する時期は

6歳の子どもが覚えておけることばの数は平均で4個

「逆さま言葉」が言えるかどうかで音韻意識を検査しました。  
(5問中3問正解で合格としました)

- 6歳半頃で3文字の「逆さま言葉」の合格率は65~70%
- 年長さんの時期に音韻意識が急激に発達します。

10

- 私達の世代では、「音韻意識」は特に意識しなくても周囲の大人や年長児との言葉遊びを通じて身につけていました。
- しかし、「音韻意識」は音韻に気づく言葉遊びを通して“気づける”のであって、“普段の会話さえできれば自然と身につく”というものではありません。



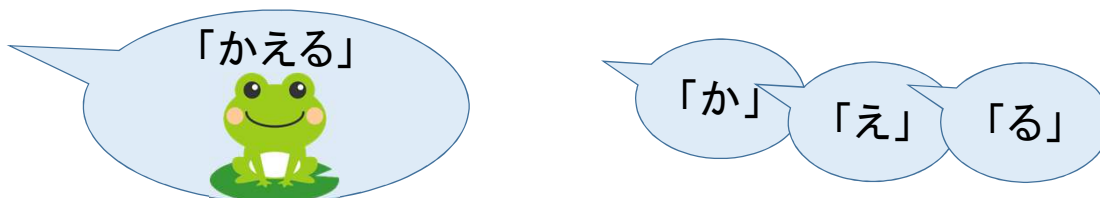
資料参照: 子どもの遊びポータルサイト ミックスじゅーちゅ



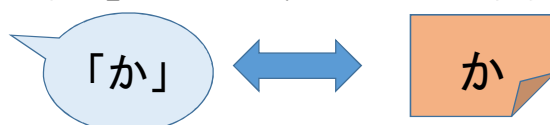
資料参照: ほいく IS

## 言葉遊びを通して、年長さんのころには音のまとまりをバラバラにできる。


- 言葉遊びを十分することで、「かえる」という言葉を聞いた時に、『か』『え』『る』と一つずつ分けられるようになります。



- さらに、入学後に「50音」を学習することで、「個々の音に対応する文字がある」ことに気づくようになります。



1年生になると、音韻意識が十分に発達することで、「50音」を正しく覚えることが出来、文字を自在に扱うことが出来るようになります。

- 「かえる」が、「か」「え」「る」だと認識することが出来ることで、
- 「かえるの『か』」といわれて『か』を意識できるのです。
- 「いるか」と書こうと思って「いるかの『か』」が出てこない時に「かえるの『か』でしょ。」といわれて、『か』を書けるのは、音韻意識が育っているからです。
- やがて、書きたい時に書きたい文字が、スラスラと頭の中の『文字言葉』から引き出すことが出来るのです。

13

音韻意識は「言葉の記憶」の育ちにも影響してきます。

- 自分の言った言葉の音韻を意識しながら、言った言葉を記憶できることで、トウモ~~ココシ~~をトウモ~~コロシ~~と言い間違えても、その言葉（音）を耳で聞き取り~~ココシ~~と~~コロシ~~を言い間違えていることに気付きます。
- （年中さんはまだ音韻意識が未熟なので、トウモ~~コロシ~~と言っても気付けないのです。）
- 音韻意識の発達には、正確に音声言葉を覚えておくことを助け、言葉の習得や正確な指示理解につながるのです。



スタジオジブリ となりのトトロ

14

## 就学時健診における「さかさま言葉（音韻意識）」検査と、その回答結果の例

### 合格

音韻検査 〇(3/5)

練習		ねこ		逆音韻課題	
2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
いぬ	〇	つくえ	??	しまうま	
やま	〇	たいこ	〇	ゆうやけ	
		かえる	〇	にわとり	
		いちご	〇		
		じかん	んがろ		

3音のさかさま言葉が  
5問中3問以上正解

### おいしいです！

音韻意識の芽生えがある。

音韻検査 ✓

練習		ねこ		逆音韻課題	
2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
いぬ	〇	つくえ	えつく	しまうま	
やま	〇	たいこ	〇	ゆうやけ	
		かえる	るかか	にわとり	
		いちご	...		
		じかん	/		

3音のさかさま言葉で  
「えつく」が「え」「つ」「く」になっている

読み書き学習が苦手になる  
音韻の遊びをたくさんしよう

音韻検査 ✓

練習		ねこ		逆音韻課題	
2モーラ	評価	3モーラ	評価	4モーラ	評価
いぬ	〇	つくえ	...	しまうま	
やま	あやま	たいこ	/	ゆうやけ	
		かえる	/	にわとり	
		いちご	/		
		じかん	/		

3音のさかさま言葉が  
一つも言えない

## 大変だ！！！！

- 1年生が「読み書き」で苦労するのは、年長さんの頃の子育て（遊び）の中身が、10年前と少し変わってきたからなのかも。
- とすれば、子どもが頑張るのではなく、大人が気づいてあげて、大人が関わりを工夫してあげなければいけないんだ！
- **でも、けっして「さかさま言葉」の特訓をさせないで下さい。**
- とすれば、何をすればいいの？

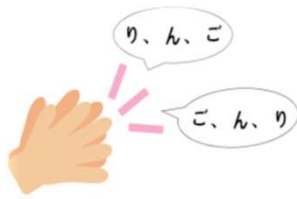




なにも特別なことをするではありません。

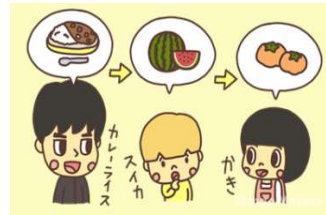
私たちの時代に楽しんだように、  
言葉遊びをたくさん楽しんで頂ければと思います。

言葉の数だけ手をたたこう



資料参照:ちいしば 小1プロブレム

しりとり



資料参照:子どもの遊びポータルサイト ミックスじゅーちゅ

- 「👏👏👏」のことばの数だけ進む、じゃんけんゲームは効果的です。



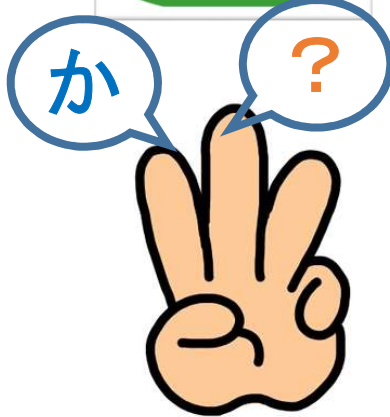
- お買い物と一緒にいった時に、「4個の言葉をたくさん探した人の勝ち」と、言葉を扱う楽しさを教えましょう。

18



50音の文字は、まだ書けなくても良いので

- ① 「“かえる” の言葉の数はいくつ？」や、
- ② 「1番目の言葉は？」  
「2番目の言葉は？」と、問いかけましょう。



無理に反対言葉を言わせないでください。



19

そして、**就学時健診の結果**をよく見て、**「音韻意識」の育ちに不安を感じたら**、**保育園の担任や主任の先生方に、直接、しっかりお願いしましょう。**



- なぜなら、
- 保育園の先生は、「**保育のプロ**」だから。
- 家庭で家事をしながらできる言葉遊びの時間は限られているから。
- お友達同士で行う「言葉遊び」は、子ども達にとってとても楽しく、最も育ちが期待できる時間だから。

20



それぞれのお子様の育ちには、  
それぞれのペースがあります。

「音韻意識」に関する「子どもの育ち」  
なので、どの子も同じペースで育つ  
ものではありません。

「音韻意識」が  
「入学までに育っていなければ絶対困る。」  
という事ではなく、  
「音韻意識」が育つ言葉遊びを、  
すぐに始めることが大切なのです。

学校のお勉強が楽しくなる  
大切な「育ち」ですから♡

以上、就学までの子育ての工夫を  
親子の楽しい時間に  
取り入れていただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

• 参考文献・論文

- 就学前から1年生のひらがなの土台づくり(深川美也子2021)
- 幼児の音韻意識の発達とひらがな読み習得の関係(深川美也2017)
- 健常児における音韻意識の発達(原恵子 2001)
- 小学生の読みにおける音韻処理の発達の变化 — 語彙判断・押韻判断における脳処理からの検討 — (佐藤 裕, 山根 直人)
- 「心の理論」から学ぶ発達の基礎(子安増生)
- 社会心理学(池田輝一)
- 問い方始める発達心理学(坂上裕子 2014)
- 文部科学省 新学習指導要領解説 H29
- 挿絵 いらすとや 他